

平成 30 年度

高規格救急自動車（車両・ぎ装）

高規格救急自動車用救急資機材

仕 様 書

十日町地域広域事務組合

高規格救急自動車（車両・ぎ装）及び救急用資機材仕様書

第1章 総則

1 目的

この仕様書は、十日町地域広域事務組合（以下「組合」という。）が平成30年度に購入する高規格救急自動車（以下「救急車」という。）車両、ぎ装及び車両に備える救急用資機材（以下「救急用資機材」という。）の一部について必要な事項を定めるものとする。

2 概要

(1) 救急車（車両・ぎ装）1台

(2) 救急用資機材の一部

（他の救急用資機材については、別に納入業者を決定する予定である。）

3 構成

(1) 救急車の車両構成

車両は次に掲げるものより構成されていること。

ア 本体

イ 取付品

ウ 積載品

エ 附属品

(2) 救急用資機材構成

資機材は次に掲げるものより構成されていること。

ア 高度救命処置用資機材

イ 応急処置用資機材

4 規格

(1) 救急車は、この仕様書に定めるほか「道路運送車両法」、「道路運送車両の保安基準」及び「その他の関係法令」に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。

(2) 「救急業務実施基準」に記載された事項を十分に満たすものであること。

(3) 本救急車の装備及び装備品等は、全て新規製品であること。また、整備面を考慮し装置等は保守点検に容易な構造であること。

- (4) 本仕様書に定める救急用資機材のうち、高度管理医療機器及び管理医療機器は、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（以下、薬機法）」第2条第5項から第7項までの規定に基づく医療機器の承認を受けたものであること。
- (5) 高度救命処置用資機材及び応急処置用資機材は「救急業務実施基準」に記載された事項を十分に満たすものであること。
- (6) 高度救命処置用資機材及び応急処置用資機材は、全て新規格品であること。

5 提出書類

- (1) 救急車については次の書類を提出すること。

- ア 受注者は、製作に先立ち契約後速やかに組合と細部の打合せを行うものとし、打合せ後下記の書類（A4ファイルに整理）を2部提出し組合の承認を受けるものとする。

- イ 契約後に提出する書類

- (ア) 製作工程表
 - (イ) 製作承認図（救急車外観5面図及び傷病者室内ぎ装図）
 - (ウ) 救急車諸元明細書
 - (エ) 電気系統配線図
 - (オ) 装備品取付け図又はサービスマニュアル
 - (カ) その他組合が指定するもの

- ウ 受注者は、救急車納入時に次の書類（A4ファイルに整理）を2部提出すること。

- (ア) 完成図
 - (イ) 完成車両外観5面写真（車両登録番号の見えるもの）
 - (ウ) 製作行程に基づく状況等を撮影したもの（CD及びDVD等のメディア媒体と書類提出）
 - (エ) 救急車取扱説明書
 - (オ) 装備品・取付け品一覧表及び取扱説明書
 - (カ) 装備品・取付け品保証書
 - (キ) 改造自動車等審査結果通知書（写）
 - (ク) 緊急自動車届出確認証（写）
 - (ケ) 自動車検査証（写）
 - (コ) その他組合が指定するもの

(2) 救急用資機材納入時に次の書類を提出すること。

- ア 救急用資機材取扱説明書
- イ 救急用資機材保証書

6 製作時の注意事項

- (1) 契約後に仕様内容、車両、ぎ装及び救急用資機材に疑義が生じた場合又は技術上の理由で使用の変更を必要とする場合には軽微なものであっても、その都度組合と協議し指示を受けること。
- (2) 受注者は、製作承認図を提出した後に設計変更する必要がある場合には組合と打合わせの上、変更承認図を提出し承認を得ること。
- (3) 本救急車の車両作成、救急用資機材の納入にあたり工業所有権、その他の法令に抵触する問題が生じた場合は受注者においてこれらの問題を解決し、その旨を組合に報告すること。なお、これらにかかる費用は受注者が負担すること。
- (4) この仕様に記載されていないぎ装・装備品・取付け位置については、メーカーが最新のカatalog等で公表している装備が具備されていること。また、車両の構造、ぎ装及び取付品、附属品、新開発された救急用資機材において同等以上の性能を有するものを主張する場合は、事前に組合に性能資料を提出し承認を受けること。
- (5) 車両は、新規登録検査に合格の後、各部清掃手入れを行い燃料タンクに燃料を満した状態で納入すること。
車両のタイヤは、納車時季に応じたタイヤで納車すること。

7 検査

- (1) 組合の指示する各検査を受けるものとし、仕様内容と相違のある場合、検査結果不適合又は不合格品と認められるものは、組合の指定する日までに部品の取替え又は補修若しくは改修し、再検査を受けること。
- (2) 各検査には必要に応じ検査員が立会い指示事項、確認事項は受注者が記録の上、書面を取り交わすこと。
 - ア 中間検査
検査の日程は、実施予定日の14日前までに文書で提出すること。なお、検査に係る組合の費用は、受注者が負担すること。
この検査において軽微な変更事項があった場合はこれに応じるものとする。

イ 完成検査

納入時に、性能・附属品等の完成検査を行う。

ウ その他

組合が必要と認めたときは、随時検査に応じるものとする。

8 登録の費用等

車両の登録及び納車に関する一切の経費については受注者が負担する。(重量税、自賠責保険料、リサイクル料金、も含む。)

9 納入場所等

救急車の車両本体 十日町地域消防本部 納入台数 1台

救急用資機材 十日町地域消防本部

10 納入期限

平成31年3月29日(金)

11 保証

保証期間は、次のとおりとする。ただし、保証期間後であっても設計、製作方法及び材質不良等に起因すると考えられる問題が生じた場合は、受注者が無償で修復するものとする。

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| (1) 救急車の車両(本体) | 納入後3年又は走行距離60,000km未満 |
| (2) 救急車の車両(架装) | 納入後1年 |
| (3) 救急車の積載品・取付品 | 各メーカーの保証期間 |
| (4) 救急用資機材 | 納入後1年又はメーカー等で定める保証期間 |

12 その他

仕様書を十分に理解し、疑義ある場合は、組合に質疑を行い、その内容を相互納得の上、製作を進めること。また、契約後における全ての事項は、組合の解釈に従うこと。(議事録として記録し、適宜提出すること。)

第2章 仕様

1 救急車の主要諸元

(1) 駆動方式

四輪駆動オートマチック方式

(2) 車両寸法

ア 車両	全長	5,700mm 以下
	全幅	2,000mm 以下
	全高	2,600mm 以下
イ 傷病者室	室内長	3,100mm 以上
	室内幅	1,600mm 以上
	室内高	1,800mm 以上

(3) エンジン

ア 総排気量	2,600CC 以上
イ 最高出力	110kw (150Ps) 以上

(4) 使用燃料

ガソリン

(5) その他

救急車取付品及び附属品は、別表1のとおりとする。

2 標準装備品

メーカーが公表した標準装備品は、全て納入すること。ただし、本仕様書で指定したものと重複するものについては除くことができる。

3 救急車ぎ装

救急車ぎ装は、メーカー標準装備品のほか次のとおりとすること。

(1) 救急車外装ぎ装

- ア 左スライドドア平面及び垂直面にアルミ縞板又はアルミ筋板を取付け平面部には、滑り止めを施すこと。
- イ リヤバンパー及びリアステップにアルミ縞板を取付け、リアステップには滑り止めを施すこと。
- ウ レスキューツール4点セット及び収納架台を取り付けること。

- エ ルーフサイド左右にサイドフラッシャーランプを取り付けること。
- オ ルーフサイド左右にLED作業灯を2灯取り付けること（計4か所）。
- カ LED路肩灯を取り付けること（ON/OFFスイッチ付）。
- キ 間仕切り布を取り付けること（脱着可能、ホック、マジックテープ式）。
- ク 助手席側にアウトサイドミラーを取り付けること。
- ケ 左右フロントドアにサイドバイザーを取り付けること。
- コ フロント部に消防マークを取り付けること。
- サ フロント部左右に補助赤色警光灯（LED式）を取り付けること。
- シ 両側面フロント及びリアに赤色警光灯（LED式）を取り付けること（計4箇所）
- ス バックブザーを取り付けること（ON/OFFスイッチ付）。
- セ 前照灯はLED式ヘッドランプとすること。
- ソ 寒冷地仕様としヒーター付ドアミラーを取り付けること。
- タ 傷病者室左スライドドア2/3くもりフィルム処置、バックドアガラスはくもりフィルム処置なし、それ以外の窓はくもりフィルム処置を施すこと
- チ 車両には完全な錆止め処理を施すこと。
- ツ フロント部サイレンスピーカーに防雪カバーを取り付けること。
- テ 排気口を車両側面に設け、ストレッチャー搬出入時や病院内部への排気ガス流入に配慮すること。
- ト 標準装備されている車両フロント、リア部の警光灯はLED式とすること。
- ナ リモコン操作でドアの施解錠ができること。
- ニ 車両全周に赤帯を貼ること。

(2) 運転室内ぎ装

- ア フェードイン・アウト機能付及び騒音対策を有するサイレンアンプを取り付けること（大阪サイレン製）。
- イ 運転席上部にフレキシブルマイクを取り付けること。
- ウ サイレン音（ウー音）吹鳴スイッチを運転室内中央パネル付近と運転席メーター付近に取り付けること（計2か所）。
- エ サイレンアンプ音声メッセージ吹鳴スイッチを運転室内中央パネル付近と運転席メーター付近に取り付けること（計2か所）。
- オ サイレンアンプ音声右左折メッセージON/OFFスイッチを運転室内中央パネル付近に取り付けること。

- カ 電流計・電圧計を運転室内に取り付けること。
- キ ナビゲーションシステムはバックモニター、TV機能付きを取り付けること。
- ク ドライブレコーダーを取り付けること。
- ケ 助手席側から傷病者室内を確認できるミラーを取り付けること。
- コ 運転席と助手席の間に地図入れ用の収納庫を取り付けること。
- サ 外部電源入力中にエンジンが始動しない構造とすること。
- シ 助手席上部にLED灯ランプを取り付けること。
- ス 助手席後部にボードを取り付けること。

(3) 傷病者室ぎ装

- ア 左スライドドア部にカーテンを取付け、バックドアに電動カーテンを取り付けること。
- イ ヘルメット収納用C型バネフックを運転室内と傷病者室内に取り付けること（詳細は別途指示）。
- ウ 室内にティッシュ／ディスプレイグローブボックス固定ベルトを取り付けること（縦型収納庫2ツ折扉用）。
- エ 運転席後部に収納棚を取付け、中に棚板を2段取り付けること（二つ折り式）。
- オ 引出し内部にカバー材を敷くこと。
- カ 助手席後部に収納庫を設置すること（自動心肺蘇生器、ボンベ収納）。
- キ 着脱式ステンレストレイを設置すること（ストレッチャーに着脱可能とする）。
- ク 冷蔵庫を取り付けること。
- ケ 酸素ボンベ収納庫上部にレールを取付け、着脱式ステンレストレイを取り付けること。
- コ 手指消毒液用の収納庫を取り付けること（マグネット式）。
- サ 室内右側最後部にアクリル扉付き収納庫を取り付けること。
- シ 室内右側並びに左側にアクリル扉付き収納庫を取り付けること（現行同位置）。
- ス 室内右側最前部にティッシュ／グローブボックス用固定ベルトを1か所以上取り付けること。
- セ 室内にハイバックシートを設けること。
- ソ 室内天井にネットを2か所以上取り付けること（左前後）。
- タ 室内にA4ホワイトボードを取り付けること（マグネット式）。
- チ 室内右側にC型バネ付フックを取り付けること（右窓上レール部分）。

- ツ 室内右側に手すりを2本取り付けること。
- テ 室内天井に手すりを2本以上取り付けること。
- ト 横向き席にシートベルト2人分を取り付けること。
- ナ バックドアに開閉用ストラップを追加し、開口部横向き座席下部に手すりを取り付けること。
- ニ 室内照明（LED式）と患者灯調光器を取り付けること。
- ヌ 室内にデジタル式電波時計を取り付けること（湿度計表示のある物）。
- ネ 防振ベッドは磁気ダンパー式とし、ストレッチャー搬入補助のガイドを取り付けること。
- ノ 室内右側又は左側面上部にバックボード及びスクープストレッチャーを容易に出し入れできる構造の収納を取り付けること。
- ハ 室内にダストボックスを設け付近にステンレス製の吸引カテーテル収納を取り付けること。
- ヒ 加湿流量計（ヨークバルブ仕様）を取り付けること。
- フ 川重型酸素マニホールドを加湿流量計下部に取り付けること。
- ヘ 自動体外式除細動器、電気式吸引器、人工呼吸器、その他当組合が指定する資機材については取付け金具を設けること（詳細は別途指示）。
- ホ 輸液ビンホルダーを天井及び天井アシストバーに取り付けること（合計4本の吊下げを可能とする）。

(4) 車両電装ぎ装

- ア 車載バッテリー及びヒューズは救急資機材やぎ装等を考慮し、使用容量に十分余裕を持たせ耐久性の高い製品を使用すること。
- イ 救急資機材を使用した場合、十分な発電量を確保できるオルタネーターを装備すること。
- ウ 各配線は消費電流に余裕があり長年の使用に十分耐える物を使用すること。
- エ 資機材用にAC100V コンセントを設置すること（詳細・個数は別途指示）。
- オ インバーター（正弦波 300W 以上）とハーネスを取り付けること。
- カ 外部電源から車載バッテリーを充電できるシステムを取り付けること。
- キ AC100V 電源の自動切換改造を行なうこと。

(5) 車載用無線電話装置等

- ア 車載用無線電話装置等は、現有車両から移設設置するものとし、組合が指定する業

者とすること（設置位置等については別途指示）。

- イ 運転席と助手席の間にAVMモニターと無線機操作パネルが設置できる基台を取り付けること。
- ウ ルーフ上部に無線アンテナベースを2か所設け、無線アンテナを取り付けること。
- エ 無線配線はアンテナ取付け部から本体取付け部まで隠蔽配線とすること。
- オ ON/OFFスイッチ付の無線機用スピーカーを傷病者室前方天井部と運転室内天井部に取り付けること（計2か所）。
- カ 傷病者室左側に無線機送受話器を取付けられるように配線等を施し、振動及び衝撃に耐える脱着容易なかけ具を取り付けること。
- キ 無線機アンテナ用点検口を2か所増設し5D2V線を敷設すること。
- ク 雑音防止工事を実施すること（アースボンディング処理）。
- ケ ぎ装の段階で通線等を行い、配線が露出することがないように処理を行うこと。
また、事前に通線等の処理を行うケーブル等については全て新規製品を使用すること。

(6) 文字記入関係

- ア 車体前部右側の組合が指定する位置に「十日町救急3」と記入すること。
- イ 車体両側面の組合が指定する位置に「十日町地域消防本部」と記入し、組合のエンブレムを取り付けること。
- ウ 両フロントドア部の組合が指定する位置に「十救3」と記入すること。
- エ 車体後部の組合が指定する位置に「十日町地域消防本部」と「十日町救急3」と記入すること。
- オ 対空標示は、組合が指定する位置に「十日町」と「A3」と記入すること。
- カ 車体両側面の窓上部の組合が指定するに位置に「TOKAMACHI FIRE DEPT.」と記入すること。
- キ 車両全周に反射材を取り付けること。
- ク 文字位置、字体、大きさ、デザイン、使用する素材等は組合と別途協議すること。
- ケ 当該車両の導入に伴い、(6)文字記入関係は組合が指定する業者とすること。

4 救急用資機材

救急用資機材は、高度救命処置用資機材（別表2）及び応急処置用資機材（別表3）とする。

第3章 その他

1 取り扱い説明

車両納入後、組合の指示で救急車、装備品及び救急用資機材等の取扱いについて専門係員を派遣し、説明を実施すること。

2 救急資機材

救急用資機材については、本件契約後に別途入札で決定される救急用資機材納入業者と調整の上、積載・取り付けした状態で車両を納入すること。

別表1 取付品及び附属品

番号	品名	規格・仕様等	数量	備考
1	メインストレッチャー	モンディアルS T70-J	一式	カボコ枕 ストレッチャー脱着式 両サイド ドームプレートカバー 新型ワイヤリンクシステム 新型ガード架キット オーバーホール1回分 含
3	車輪止め	2個1組 (ロープ付)	一組	
4	フロアマット	メーカー純正品	一式	
5	スタッドレスタイヤ	ホイール付 国内メーカー	一式	地域特殊性
6	スノーワイパーブレード	フロント・リア部	一式	地域特殊性
7	非常用信号用具	発煙筒、非常灯、三角停止表示板	一式	
8	タイヤゴムチェーン	メーカー純正品	一式	
9	消火器	車両標準装備	一式	
10	予備電球・ヒューズ	個数は、別途指示	一式	

別表2 高度救命処置用資機材

項目	品名	規格・仕様等	数量	備考
気道確保用資機材	バックバルブマスク ※1	レールダル製 成人用・小児用	一式	シリコンレサシテーター
		新生児用	1	ディスプレイ
	喉頭鏡	オプティマLED喉頭鏡 ハンドルスタンダード	一式	ブレード (1・2・3・4) 喉頭鏡用ソフトケース
	手動式吸引器	WEA-2	一式	
	電動式吸引器 ※2	レールダル LSU4000	一式	AC電源コード付きウォールブラケット サイドポーチ、ショルダーストラップ エアロゾルフィルター再使用型キャニスター用× 10 ヤンカーカテーテル×10本 含
	酸素吸入装置 ※2	ガスサプライバルブ	一式	レールダル接続アダプター含む
	人工呼吸器セット ※1	メデュマットイージー WMED-6EC (標準構成)	一式	専用取付け金具 (EPTK) マルチキゲンバッグ 蘇生マスク小児・乳児 酸素ボンベ2.0L LSP 減圧器 6年間メンテナンスパック 追加 患者ホース・バルブセット 酸素供給ホース (0.45m)

※1 高度管理医療機器 ※2 管理医療機器

別表3 応急処置用資機材

項目	品名	規格・仕様等	数量	備考
酸素吸入資機材	加湿流量計	OXY PAC III S ※フルモデルチェンジに伴う	一式	減圧弁 SA ヨーク型 ジェノロンチャク付 三方チーフ 高压用 (標準) 両端 60cm 配管ホース緑 7m 酸素ボンベ 9.4L アルミレットバルブ (ラクスファ) ×2 本
	増設マニホールド	川重型 2 口型	一式	
	酸素減圧弁	モデル 801 J		
搬送用器材	スクープストレッチャー	FERNO 65EXL	一式	ピン付 ヘッドイビライザー含む

救急車に係るぎ装一覧表

1 救急車本体ぎ装			
No	品 名	数量	備 考
1	左スライドドア平面及び垂直面にアルミ縞板又はアルミ筋板を取付け、滑り止め加工	一式	
2	リヤバンパー及びリアステップにアルミ縞板取付け、滑り止め加工	一式	
3	レスキューツール4点セット及び収納架台取付け	一式	
4	ルーフサイド左右にサイドフラッシャーランプ取付け	一式	
5	LED作業灯を左右2灯取付け（計4灯） （大阪サイレンLI-21又は同等品）（ON/OFFスイッチ付）	一式	
6	LED路肩灯取付け（ON/OFFスイッチ付）	一式	
7	間仕切り布取付け（脱着可能、ホック、マジックテープ式）	一式	
8	助手席アウトサイドミラー及び左右サイドバイザー取付け	一式	
9	フロント消防マーク取付け	一式	
10	フロント部左右に補助赤色警光灯取付け （大阪サイレンLF-11D又は同等品）	一式	
11	両側面フロント及びリアに赤色警光灯（LED式）を取り付ける（計4か所）	一式	
12	バックブザー取付け（スイッチ付）	一式	
13	前照灯LEDヘッドランプ取付け	一式	
14	寒冷地仕様（ヒーター付ドアミラー含む）	一式	
15	傷病者室左スライドドア2/3くもりフィルム処置、バックドアガラスくもりフィルム処置なし、それ以外の窓はくもりフィルム処置	一式	
16	車両錆止め処理	一式	
17	フロント部サイレンスピーカーに防雪カバー取付け		
18	排気口車両側面設置	一式	
19	標準装備の車両フロント及びリア部LED式警光灯取付け	一式	
20	リモコン操作式ドア施錠取付け	一式	
21	車両全周赤帯貼付け	一式	

2 運転室内ぎ装			
1	サイレンアンプ (大阪サイレン)	一式	
2	フレキシブルマイクロホン取付け (大阪サイレンUD-100)	一式	
3	サイレン音鳴動スイッチ取付け (運転室内中央パネル付近・メーター右脇)	一式	
4	サイレンアンプ音声メッセージ鳴動スイッチ取付け (運転室内中央パネル付近・メーター左脇)	一式	
5	サイレンアンプ右左折音声用ON/OFFスイッチ取付け (運転室内中央パネル付近)	一式	
6	電流計・電圧計取付け (運転室内)	一式	
7	カーナビゲーションシステム取付け (バックモニター+TV機)	一式	
8	ドライブレコーダー取付け	一式	
9	助手席側、傷病者室内視認用インナーミラー取付け	一式	
10	地図入れ (蓋なし、A3サイズ収納可、深さ約100mm)	一式	
11	外部電源入力中エンジンスタートOFF改造	一式	
12	助手席上部LEDランプ取付け	一式	
13	助手席後部ボード取付け	一式	
3 傷病者室ぎ装			
1	左スライドドア部カーテン取付け、バックドア電動カーテン取付け	一式	
2	ヘルメット収納用フック取付け (詳細は別途指示)	一式	
3	ティッシュ/グローブボックス固定ベルト取付け (縦型収納庫2ツ折扉用)	一式	
4	運転席後部に収納棚取付け (棚板2段を含む)	一式	
5	引出内部カバー材取付け	一式	
6	助手席後部収納庫設置 (自動心肺蘇生機、ボンベ収納)	一式	
7	着脱式ステンレストレイ取付け (詳細別途指示)	一式	
8	冷温蔵庫取付け (電源用コンセント改造を含む)	一式	
9	酸素ボンベ収納庫上部にレール及びステンレストレイ取付け	一式	
10	手指消毒用収納庫取付け (マグネット式)	一式	

1 1	室内右側最後部にアクリル扉付き収納取付け	一式	
1 2	右側並びに左側アクリル扉付収納庫又はネット取付け（詳細別途指示）	一式	
1 3	ティッシュ／グローブボックス用固定ベルト取付け （傷病者室右側最前部）	一式	
1 4	室内にハイバックシート取付け	一式	
1 5	室内天井ネット取付け（2か所以上）	一式	
1 6	ホワイトボード取付け（マグネット式）	一式	
1 7	室内右側C型バネ付フック取付け（個数はレイアウト確認後）	一式	
1 8	室内右側手すり取付け（2本）	一式	
1 9	室内天井手すり取付け（2本以上）	一式	
2 0	シートベルト取付け（横向き座席2名分）	一式	
2 1	バックストラップ追加取付け（リアハッチ）	一式	
2 2	グリップ取付け（リアハッチ開口部横向きシート下）	一式	
2 3	室内照明（LED式）、患者灯調光器取付け（傷病者室内右側）	一式	
2 4	デジタル電波時計取付け	一式	
2 5	温湿度計取付け	一式	
2 6	防振ベッド（左右スライド機能付き）取付け （モンディアル用・反転スロープ・搬入ガイド付き）	一式	
2 7	バックボード・スクープストレッチャー汎用固定装置取付け	一式	
2 8	LSU4000 固定器具取付け	一式	
2 9	ZOLL 固定器具取付け	一式	
3 0	室内にダストボックス取付け	一式	
3 1	ステンレス製吸引カテーテル収納取付け（ゴミ箱付近）	一式	
3 2	加湿流量計取付け（配管接続含む）	一式	
3 3	川重型酸素マニホールド取付け（加湿流量計下部配管接続含む）	一式	
3 4	資機材取付け金具の設置（詳細別途指示）	一式	
3 5	輸液ビンホルダー取付け（天井及び天井アシストバー、合計4本吊下げ）	一式	

4 救急車電装ぎ装			
1	AC100V 出力コンセント設置 (詳細・個数別途指示)	一式	
2	300W インバーター・ハーネス取付	一式	
3	外部電源から車載バッテリー充電システム取付け	一式	
4	AC100V 電源自動切換改造		
5 車載用無線電話装置等			
1	A V Mモニター、無線操作パネル基台設置	一式	
2	車両上部に無線アンテナベース2か所取付け (デジタル無線アンテナ取付け含む)	一式	
3	無線配線の隠蔽配線	一式	
4	ON/OFFスイッチ付無線機用スピーカー取付け (運転室内・傷病者室内)	一式	
5	傷病者室、無線送受信器用配線とかけ具取付け	一式	
6	無線機アンテナ点検口2か所増設、5D2V線敷設	一式	
7	アースボンディング処理	一式	
6 文字記入関係 (当組合指定位置、詳細別途指示)			
1	車体前部「十日町救急3」	一式	
2	車体両側面「十日町地域消防本部」「組合エンブレム」	一式	
3	車体両フロントドア部「十救3」	一式	
4	車体後部「十日町地域消防本部」「十日町救急3」	一式	
5	車体上部 (対空標示)「十日町」「A3」	一式	
6	車体両側面の窓上部「TOKAMACHI FIRE DEPT.」	一式	
7	車体全周に反射材	一式	